

SWP 型

取扱説明書

このたびは本製品をお買い上げいただきましてありがとうございます。
この取扱説明書は、本製品の使い方と使用上の注意事項について記載しています。
ご使用前には必ず、この取扱説明書をよくお読みいただき、事故が起こらないよう、内容にしたがって正しくお使いください。
また、お読みになった後も、この取扱説明書をすぐに取り出せる所へ、大切に保存してください。

- はしごは、正しく使われていないと転倒や転落の危険があります。お使いになるときははしごの安定した状態を確認してください。
- はしごは、昇降面の左右方向に転倒しやすいので、十分注意してお使いください。
- はしごを使うときは、大人の補助者がはしごをしっかり支えて、転倒や転落しないように、十分注意してお使いください。
- この取扱説明書に書かれた使いかた以外の使用方法や注意事項を守らずに、事故を起こされても責任を負いかねますのでご了承ください。

表示マークについて

取扱説明書や製品のラベルに記載されている△マーク付きの説明は、安全上、特に重要な項目ですから、必ずお守りください。

△危険
記載されている内容を守らなければ、死亡や重大な事故が生じる危険が極めて大きいことを示します。

△警告
記載されている内容を守らなければ、死亡や傷害事故が生じる危険があることを示します。

△注意
記載されている内容を守らなければ、けがや製品が破損する恐れがあることを示します。
※破損したままで使用しますと、転倒や転落による傷害事故の原因になります。

○禁止
このマークは、禁止（してはいけないこと）を示します。

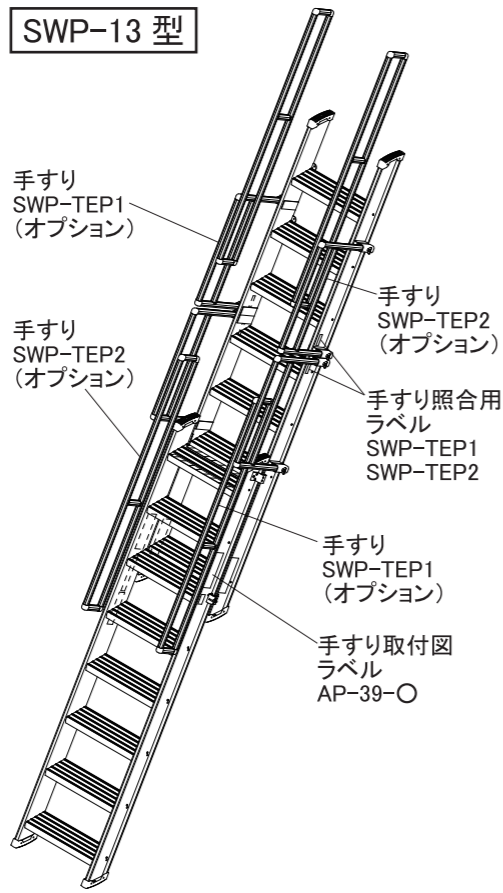
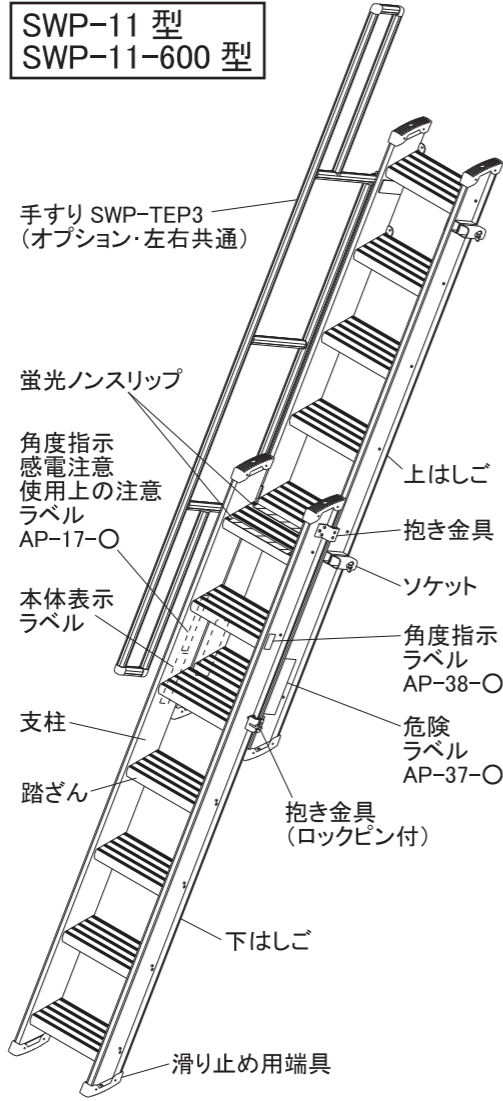
●強制
このマークは、強制（必ずすること）を示します。
〈絵表示について〉
警告表示の要点が一目で理解できるように、警告ラベルの中で絵表示を使用しています。
絵表示には下記の意味があります。

歩行マーク **感電注意**
持ち運びや移動・設置時に、配電線に触れると感電して危険であることを示します。

手マーク **可動部で手をはさまないように注意**
製品を操作するとき、可動部で手をはさむ恐れがあることを示します。

足マーク **左右方向転倒に注意**
バランスをくずして、転倒や転落の恐れがあることを示します。

各部のなまえ



安全のために、必ず守っていただきたいこと

ここに記載されている注意事項を守らないと、死亡や重大な事故、製品の破損が生じる恐れがあります。

1. 使用条件について

△警告 はしごとしての用途以外の使いかたをしないでください。

この製品は、建物などに立て掛けて、高い所に昇り降りする用途に作られた「はしご」です。使いかたを誤ったり、用途以外の使いかたをしますと、転倒や転落による重大な事故の恐れがあります。

△警告 はしごを使うときは、大人の補助者がはしごを支えるか、はしごを固定してください。

補助者がはしごを支えるか、はしごを固定しないと、はしごが動きます。そのときバランスをくずして、転倒や転落の恐れがあります。

△警告 この製品は、本体表示ラベルの最大使用質量の範囲内で使用してください。

体重と荷物の合計質量が、最大使用質量を超えるときは、使用しないでください。また、荷物はバランスが保てる程度の大きさや重さにしてください。

△警告 はしごを加工や改造しないでください。

重大な事故を起こす恐れがあります。

△注意 使用に適した服装で使ってください。

製品に引っかかったり、すそを踏みつける恐れのある服装で使用しないでください。

△注意 お使いになるときは、作業帽（ヘルメットなど）を着用してください。

△注意 貼りつけてあるラベルが無くなったり、読めなくなった製品は使わないでください。

必ず、弊社から新しいラベルを取り寄せて、正しい位置に貼り、内容を理解してから使ってください。※ラベルを取り寄せるときは、ラベルのナンバーをご連絡ください。

△注意 この製品を人に貸すときは取扱説明書も共に貸し出してください。

取扱説明書には安全に使用する上で特に重要なことが書かれていますので、よくご理解の上、使用するよう指導してください。

2. ご使用になる前に

△警告 使う前には、必ず「ご使用前の点検」を行い、異常のないことを確認してください。

異常のあるときは、絶対に使わないでください。重大な事故につながる恐れがあります。

△警告 変形したはしごを、使わないでください。

この製品はアルミ製です。曲がったアルミ材は曲げ直すと強度がいちじるしく低下します。したがって、変形した製品を修理して使いますと、容易に折れ曲がったりして、重大な事故の原因になります。

3. 運ぶときは

△注意 持ち運びは、はしごの両端を2人で持ち、ゆっくり慎重に行ってください。

1人で行くと、人や建物に当てて、事故を起こす恐れがあります。

△注意 トラックなどにロープで固定するときは、ロープを激しく引っ張らないでください。

製品が変形したり、亀裂が入り、使用中に折れる恐れがあります。

△注意 はしごを持ち運ぶときは、引きずったり、投げたり、乱暴に扱わないでください。

乱暴に扱うと、変形やへこみ・破損の原因になります。

4. 設置する場所について

△危険 設置するときや持ち運ぶときは、配電線に注意してください。

この製品は電気を通しますので、配電線に触れると感電し、重大な事故につながる危険があります。

△警告 はしごが安定しない場所には、設置しないでください。

設置場所が下記の状態では、はしごが傾いて転倒や転落の恐れがあります。

- やわらかい地面や壁で、はしごが安定しない場所。
- 段差があったり、凹凸があって安定しない場所。
- 支柱の片側がジャリ、もう一方がコンクリートなど、左右の硬さが違う場所。
- 傾斜している地面や床、屋根の上。
- 積雪している場所。
- その他、安定しない場所。

△警告 はしごが滑りやすい場所には、設置しないでください。

設置場所が下記の状態では、転倒や転落の恐れがあります。

- 滑りやすいビニール製の床・タイル・鉄板の上。
- 濡れている場所。
- 滑りやすいタイル・ガラスなどの壁。
- 積雪や凍結している場所。
- 砂・ごみ・ほこり・落ち葉などで滑りやすい場所。
- その他、滑りやすい場所。

△警告 人の出入口やドアの前には、設置しないでください。

出入りする人や開けたドアで、はしごが倒されて転倒や転落の恐れがあります。

△警告 雨の中や風の強い場所には、設置しないでください。

濡れた踏ざんで滑ったり、強い風を受けて身体のバランスをくずして、転倒や転落の恐れがあります。

△警告 足元や周囲がはっきり見えない暗がりには、設置しないでください。

足を踏み外したり、周囲の危険なものに気付かないことが原因で、転倒や転落の恐れがあります。

△注意 周囲に危険なものがある場所や、頭上に障害物のある場所設置しないでください。

転落や転倒の恐れがあります。

5. はしごを伸ばしたり、縮めたりするとき

△警告 ロックピンをロック解除するときは、上はしごをしっかり支えてください。

上はしごを支えずにロック解除をすると上はしごが急に落下して事故やはしごの破損の原因になります。

△警告 はしごから手を離す前に、ロックピンがロック状態であることを必ず確認してください。

ロック状態でないときに手を離すと上はしごが急に落下して事故やはしごの破損の原因になります。

6. はしごを立て掛けるとき

△危険 はしごの立て掛け角度は、約60度にしてください。

はしごを立てすぎると倒れ、ねかせすぎると滑りますので、転倒や転落の危険があります。

△警告 はしごを水平にして使わないでください。

はしごが破損して、転倒や転落の恐れがあります。

△警告 はしごを長くするために、別のはしごやパイプ・木などをつないだり、台や箱の上に乗せたりしないでください。

つなぎ目が折れたり、台や箱が移動などして、転倒や転落の恐れがあります。

△警告 建物のほりや突き出た壁に、はしごの先端を立て掛けて使わないでください。

はしごのしなりや滑りによって、はしごの先端が外れ、転倒や転落の恐れがあります。

△警告 電柱や木など丸いものには立て掛けしないでください。

踏ざんが直接あたると、はしごが不安定になり、バランスをくずして、転倒や転落の恐れがあります。

7. はしごを昇り降りするときは

△警告 はしごと屋根の間を乗り移るときは、はしごがずれないように注意してください。

はしごがずれて不安定になり、転倒や転落の恐れがあります。

△警告 屋根の上からはしごを移動しないでください。

身体のバランスをくずしたり、接地面が不安定になって、転倒や転落の恐れがあります。

△警告 同時に2人以上乗らないでください。

はしごが不安定になり、転倒や転落の恐れがあります。

△警告 はしごの支柱から身体を乗り出さないでください。

身体を乗り出すとバランスをくずして、転倒や転落の恐れがあります。

△警告 身体の安定が得られないような荷物を持って、はしごを昇り降りしないでください。

バランスをくずして、転倒や転落の恐れがあります。そのような荷物があるときは、背中に背負うなどして、両手両足が使える状態にしてください。

△警告 はしごの上で壁や物を無理に押ししたり、引いたりしないでください。

壁などを無理に押ししたりすると、その反動ではしごが立ち上がったたり、ずれたりして、バランスをくずして、転倒や転落の恐れがあります。

△注意 はしごは慎重に昇り降りし、はしごの途中から、飛び降りたりしないでください。

傷害事故の恐れがあります。降りるときは、最下段の踏ざんまで使って慎重に降りてください。

ご使用前の点検

はしごをお使いになる前には、下記の点検を行い、異常のないことを確認してください。また、異常に対して処置のできるものは、正しい処置をした後に使用してください。

1. 目で見て、下記の点検をしてください

- ①踏ざんにグリース・油・泥・雪・ペンキなど、滑りやすいものが付いていないか確認し、付いている場合はきれいに拭き取ってください。
- ②支柱に曲がり・ねじれ・へこみがありませんか。ある場合は、絶対に使わないで廃棄してください。
- ③踏ざんに曲がり・へこみがありませんか。ある場合は、絶対に使わないで廃棄してください。
- ④各部の接合部に割れやいちじるしい腐食がありませんか。また、取り付け部品の破損・脱落・変形・摩耗・いちじるしい腐食がありませんか。ある場合は、絶対に使わないで廃棄してください。
- ⑤リベット・ねじ・ピンなどのゆるみや抜け落ちがありませんか。ある場合は、絶対に使わないで廃棄してください。
- ⑥滑り止めが外れたり、すり減ったりしていませんか。外れたり、すり減ったりしている場合は、絶対に使わないで廃棄してください。必ず弊社までご相談いただき、新しいすり止め用端具と交換してください。

2. ロック操作の点検をしてください

- ①左右のロックピンがスムーズに動き、確実にロックできますか。確実にロックできない場合は、絶対に使わないでください。必ず弊社までご相談ください。

はしごの使いかた

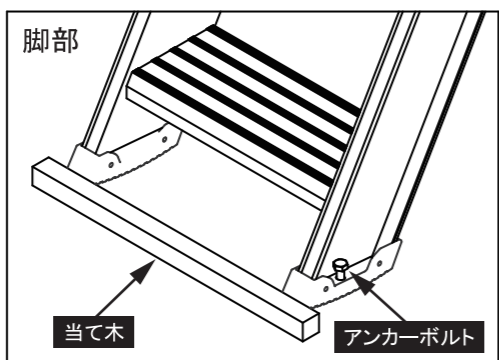
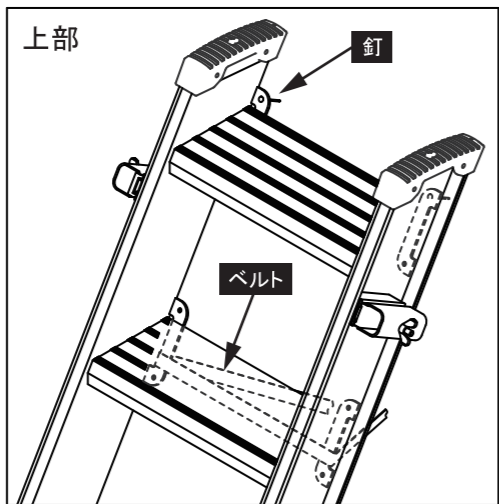
1. 設置場所について

- ガタツキがない安定した場所、滑り難い場所、はしごが埋もれない場所を選んで設置してください。
- 雨や水のかからない場所、強い風を受けない場所に設置してください。
- はしごの周囲に危険な物がなく、バランスの良い姿勢で使える位置に設置してください。
- はしごとの接点が使用質量に十分耐えられ、横すべりやガタツキがないことを確認して、ある場合は、はしごの位置を移動してガタツキを取り除いてください。

2. 立て掛けかた

はしごの立て掛けは、2人で行ってください。手すりは取り外した状態で行ってください。

- ①はしごの表面が使えるように立て掛けてください。
- ②はしごの立て掛け角度を約60度に調整します。※角度の目安は、支柱に貼ってある「60度指示ライン」を水平・垂直になるようにしてください。
- ③はしごを正面から見て、まっすぐ（水平な地面に90度）に立て掛けてください。
- ④常設する場合は、はしご上部を釘やベルトなどで固定するか、脚部がずれないように当て木やアンカーボルトなどで固定してください。

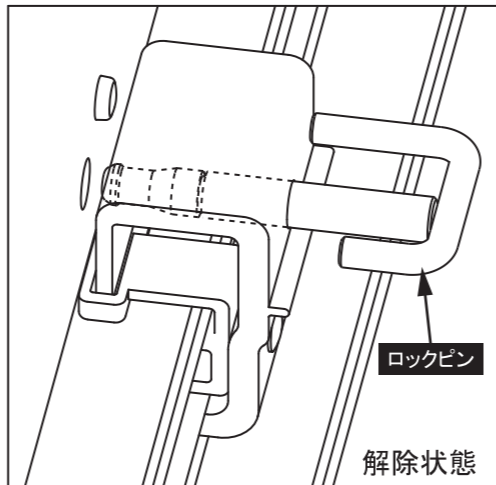


3. 伸縮操作のしかた

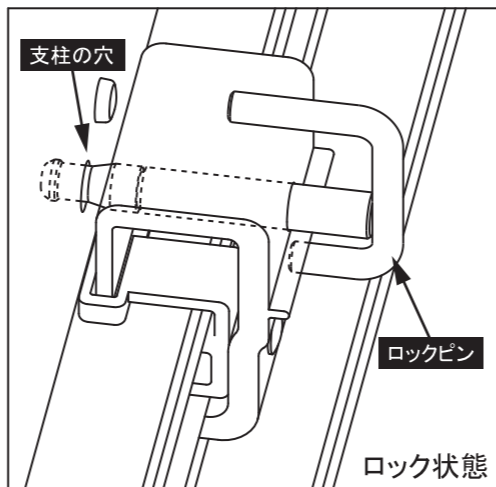
はしごの伸縮操作は、2人で行ってください。手すりは取り外した状態で行ってください。

＜伸ばしかた＞

- ①設置場所の近くで、はしごを垂直に立ててください。1人が下はしごの正面を持って、滑り止め用端具部分が滑らないように足で押えてください。
- ②もう1人のかたが、上はしごを少し持ち上げながら、左右のロックピンをロック解除状態にします。



- ③上はしごを持ち上げ、希望の高さまで伸びたら、左右のロックピンをロック状態にし、ロックピン先端を支柱の穴に挿通します。

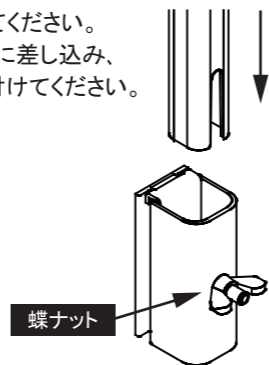


＜縮めかた＞

- ①1人が滑り止め部分が滑らない様に足で押え、もう1人のかたが、はしごを垂直に起こしてください。
- ②上はしごをしっかり支えながら、左右のロックピンをロック解除状態にします。
- ③上はしごをゆっくり下ろし、床まで着いたら左右のロックピンをロック状態にし、ロックピン先端を支柱の穴に挿通します。

4. 昇りかた・降りかた

- 手すりを使用してください。手すりをソケットに差し込み、蝶ナットで締め付けてください。



- 運動靴など滑りにくいはき物をはいてください。
- 昇り降りに支障をきたすような荷物があるときは、背中に背負うなどして、手すりを使うようにし、身体のバランスに注意しながら昇り降りしてください。
- はしごから建物、建物からはしごに乗り移るときは、はしごが不安定になります。はしごを固定していない場合は、補助者がはしごをしっかり支えて、安定させてください。
- はしごを降りるときは、1段ずつ踏ざんに足を掛け、最下段の踏ざんまで使って慎重に降りてください。
- 固定していないはしごを昇り降りする場合は、補助者が滑り止め部分を片足で押えて、両手でしっかり支えてください。

使用後のお手入れと保管のしかた

1. お手入れのしかた

はしごにとって泥・汚水・セメント・石灰・海水は大敵です。いつもきれいにしておいてください。

＜掃除のしかた＞

- ①汚れは、濡れぞうきんなどできれいに拭き取ってください。
- ②汚れがいちじるしい場合は、水洗いした後、乾いた布で拭いてください。
- ③油系の汚れはクリーナーや洗剤で落とした後、クリーナーや洗剤が残らないように、きれいに拭き取ってください。

⚠注意

クリーナーや洗剤を付けたままにしていると腐食の原因になります。

2. 保管のしかた

- ①雨や直射日光の当たらない、風通しの良い乾燥した場所を選んで保管してください。雨や直射日光が当たると、各部の腐食や劣化が進みます。
- ②本製品が濡れているときは、十分に乾燥させてから保管してください。

⚠注意

- 保管中は、本製品の上に物を置かないでください。変形の原因になります。
- 農薬やセメント・石灰の近くに本製品を置きますと、化学反応を起こして腐食の原因になりますので、絶対に置かないでください。

「故障かな?」と思ったら(不調診断)

- ＜現象＞ ●使ったときに、はしごが左右にグラグラする。
●ねじれかたが、以前より大きい。

点検する箇所	処置のしかた
支柱と踏ざんの溶接部に、割れがありませんか。	ある場合は、使わないで廃棄してください。

- ＜現象＞ ●設置面が水平であるのに、ガタガタする。

点検する箇所	処置のしかた
はしごの支柱が曲がっていませんか。特に、上部や下部に曲がりやねじれがありませんか。	曲がっている場合は、使わないで廃棄してください。
滑り止め用端具が外れたり、すり減ったりしていませんか。	外れたり、すり減ったりしている場合は、使わないでください。(弊社までご相談ください。)

- ＜現象＞ ●はしごを伸縮できない。
●伸縮操作が以前より重くなった。

点検する箇所	処置のしかた
支柱に曲がりやへこみなどの変形がありませんか。	ある場合は、使わないで廃棄してください。
抱き金具のねじに、緩みがありませんか。	ある場合は、締め直してください。
抱き金具に、変形がありませんか。	ある場合は、使わないでください。(弊社までご相談ください。)

⚠警告

製品に異常があった場合、自分の判断で、手直しや補修は絶対にしないでください。一度変形した本体や金具は、いちじるしく強度が落ちており、手直ししても本体や金具の破損が起こり、転倒や転落による人身事故の原因になります。

ピカ コーポレイション

〒577-0013 大阪府東大阪市長田中4-4-10

ナビダイヤル 0570-064065 (土日・祝祭日を除く9:00~17:00まで)

■ホームページアドレス <http://www.pica-corp.co.jp>

※この取扱説明書の無断転用を禁じます。